

Class: X30 Tire: DUNLOP SL6
 Engine: IAME X-30 Mechanic: --
 Frame: BIREL RY30S4 CIRCUIT: SUGO 西



RESULT

全10台

TT: 7位(41.347)
 予選: 10位(41.206)
 決勝: 10位(--)

本レースを迎えるにあたり

今回のSUGO第4戦はX-30 Challengeの特別戦であるのと、ジェントルマンクラスのポイントは上位4名が接戦なので、今回のレースはとても重要な意味がある。気合十分で挑んだはずだが、なんと土曜日から調子が狂う出来事が発生する。

着く直前に食べた鳥の唐揚げで食あたりを起こし、腹痛、下痢、嘔吐。とても走れる状況では無かった為、ナラシだけ終わらせて病院へ。

公式練習・TT

点滴とOS-1のおかげで体調は走れる状態にまで回復。土曜の状態から考えると奇跡的な回復！！朝方降った雨の影響で公式練習はレイン路面。雨はあまり良くないけど、身体に優しい路面という事もあり大歓迎でした。調子確かめるように走行して、10番中7位タイム

TTではドライ路面に変わる。SUGOはある程度走っているので感覚は直ぐに掴めそうだったが、今度はラジエターホースが抜けて水が空っぽになり4LAPでPITへ。とにかく流れが良くない。

予選

スタート直後の4コーナーで後ろからマシンが飛んできて押し出されてしまう。

大きく出遅れたのでPITに戻る事も考えたが、水無し状態で走ったエンジンのチェックもしたかったし、前日からまともに周回していないのでテストも兼ねて走行する事にしました。

エンジンは問題なさそう。体調的にも走るには問題なさそう。ただタイムをあと少し上げたい所。

走行終了後、右フロントのエア漏れが発覚。加藤さん曰く、外周で0.3-4遅く、中はトップと変わらない。という事はエア漏れが無ければトップと遜色無く走るという事か?? 今年のホイールはエア漏れを良く起こすので要注意。今回はバルブから抜けていたので交換した。さらに右リヤも抜けていた。

決勝

10番手スタートだったがスタートが良くて7番手ぐらいを走行する。予選で追突してきた要注意人物Y選手はスタートで抜いたし自分の方がペースはいい、前を目指すのみ。そう思っていたが甘かった。今度は1コーナーで横っ腹からヒットされ、クラッシュパッドへめり込む事になる。またしてもY選手。もうキレた。閉めたワケでも無いのに当ててくる。

オフィシャルに猛抗議したが、結局受け入れられず。当てて飛ばして何も無しという判定にはどうにも納得が行かない。だが、結局ノーポイントが痛い。冷静に再スタートして走っておけば良かった。

課題

・どんな状況でも諦めないこと。・危険ゾーンでレースしたくないなら自分が速くなるしかない

最後に

今回は笑えるくらい色々起こったレースだったが、ポイントが取れなかったのが最も痛かった。

決勝追突された後、感情的になり抗議に行って走らなかったのが最も反省すべき点。

追突したY選手はちゃっかり8ポイント取っているし、シリーズ戦で勝ちたいなら、調子が悪くても最低限の仕事をするのと、多少の図太さも必要なのかも。今回は自らポイントを放棄してしまった。

今回のレースはとても教訓になる事が多かったので、これをバネに今後のレースを頑張ります。